



※公式ホームページでは施設情報のほかイベントやブログを発信しているほか、旭山動物園だより・あさひやまどうぶつえんみにだよりなど各種発行物をpdfでダウンロードすることができます。

【2025年度・冬期開園】11/11(火)～2026/4/7(火)
※12/30(火)～2026/1/1(木・祝)は休園
【開園時間】午前10:30～午後3:30(最終入園は午後3:00まで)

旭山動物園だより

公式ホームページ

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

らいえん

チンパンジーの「ユズ」とボルネオオランウータンの「ドーネ」が来園！

チンパンジーは1994年にドイツから来園した「フルト」と「イブ」(「イブ」は11/10に引っ越し)以来、オランウータンは2002年に広島県から来園した「ジャック」(2024年死亡)以来の、私たちと同じ「ヒト科」動物の新規来園個体となります！



チンパンジーのメス「ユズ」は、10/25、宮崎市フェニックス自然動物園より来園しました。「ユズ」は2010年7/31に同園で生まれた15歳。10/13には「北海道の旭山動物園に旅立ちます」とお別れ会が開かれるほど地元の人々に愛されていました。現在、寝室(非公開)や放飼場で新しい環境、仲間、飼育担当スタッフを覚え慣れてもらえるよう、ゆっくり暮らしています。群れで暮らすチンパンジー。「ユズ」のこれからが楽しみですね！



「ユズ」はメス群れに慣れることから始まりました。メスの「チロ」(2024年46歳)との同居もでき、屋内放飼場にも出てきました！



「モリト」は18歳。父ジャックの死(2024年)以降、娘の「フランジ」がとても立派になりました。「ドーネ」との繁殖が楽しみです。

ボルネオオランウータンのメス「ドーネ」は、11/4、石川県のいしかわ動物園より来園しました。「ドーネ」は推定29歳で、同園の開園当初(1999年)からの人気者だったそう。野生の個体としてボルネオ島のマレーシア・サバ州にある保護施設から同園にやってきた個体です。現在、おらんうーたん館の環境に慣れてもうれるよう訓練中で、ゆくゆくは旭山動物園生まれのオスの「モリト」(18歳)との繁殖を考えています。楽しみに待ちましょう。

「だれかのはたけ」のニンジンを収穫しました！

10/19、ニンジンの葉を食べるキアゲハの幼虫がすべてサナギになったので、動物図書館で管理している「だれかのはたけ」のニンジンを収穫しました。ニンジンの出来は、昨年より小ぶりながらも、まあまあの出来だったと思います。すべて、園内で飼育している動物たちのエサとして使ってもらいました。



体づくりを心がけましょう！

血統を残すためには健康である証拠。より良い道は冬です。栄養や防寒対策を

ヒトが思う「魅力」とは違う
動物たち同士の「魅力」
私たち人間が思う「魅力」には「ヒトを引き付ける力」という意味があります。美しい・かわいいといった見た目、優しいとか賢いといった性格や行動などからも魅力を感じています。

第26回動物読書感想文コンクールの作品募集が12/1(月)にスタート！

毎年、旭川市内はもちろん、道内外からもたくさんの作品が集まるコンクールとなっている「動物読書感想文コンクール」の作品募集が12/1(月)から始まりました。受賞作品は「入選作品集」としてまとめられ、受賞者の皆さんのが、旭川市内の小学校や図書館・公民館に配布しています。作品の応募締切は冬休み明けの1/26(月)となっております。応募用紙と作品を旭山動物園宛てにお送りください。たくさんのご応募、お待ちしております。詳細は右の二次元バーコードからも確認できます。



2025年・冬期開園スタート。

いろいろな変化を園内で見つけてみてください！

11/11から冬期開園がスタートしました。「ペンギン館」の前にはトボガン広場の枠が設置されました。動物たちは?というと、ホッキョクグマの「ピリカ」が産室に入り、観察できなくなったほか、アムールヒョウの「デン」と「みらい」の同居開始、「かば館」地下の通称「アフリカ水槽」ではティラピアが展示されていますよ。ぜひ夏期開園との違いを見つけてみてくださいね。

